



林 声

2023

9 月号



県内各地の地理空間情報や先端技術を活用することで、安全で働きやすく効率的な林業経営を実現し、林業を魅力ある職場として担い手の確保・育成を進める事業者の取組を紹介する「スマート林業・おかやま」。今回は、株式会社戸川木材（新見市）の最先端機器を導入した取り組みについて紹介します。（詳細はP 2に記載）

目 次

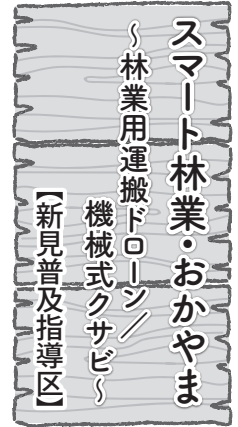
スマート林業・おかやま	林産物市況	11
～林業用運搬ドローン\機械式クサビ～	2	
生き生き！林務の現場（赤磐市農林課）	3	
普及指導区の情報（倉敷普及指導区）	4	
企業との協働の森づくり事業	5	
林業普及指導員等中央研修	6	
研究だより		
（木製残存型枠用2層パネルの開発）	7	
第74回全国植樹祭について	8	
岡山県林業研究グループ交換研修大会	9	
技能講習等情報	10	
フォレストレンジャーの活動紹介	11	
	森林・林業施設の紹介	14
	（経ヶ丸生活環境保全林）	

【ほっけ～木になる情報】

Q. 効率的な森林経営を進めたいのですが、林道が狭く軽トラしか入れません。また、林道を開設してほしい森林もあるのですが、どうしたらいいですか？
（答は13ページ）



©岡山県マスコット「ももっち」



一 はじめに

昨年度、新見普及指導区の株式会社戸川木材が、スマート林業の全国展開に向けた導入支援事業（国庫補助事業）を活用し、林業用運搬ドローンと機械式クサビを導入しましたので、その概要についてお伝えします。

二 導入の目的

（株）戸川木材は、令和4年3月に近畿中国森林管理局が新見市内の



林業用運搬ドローン「森飛25」

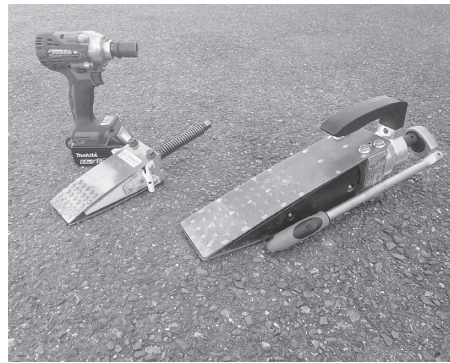
国有林に設定した樹木採取権を取得していますが、その中で、伐採と一体的な植栽を年平均12畝行う予定としており、植栽コストと労働負荷の低減を図るため、林業用運搬ドローンを導入することとしました。併せて、伐採作業時における安全性の確保を図るため、機械式クサビを導入することとしました。

三 製品の紹介

林業用運搬ドローンは、（株）マゼック社製の「森飛25」です。最大積載重量は25kgで1本150gのコンテナ苗木を最大167本運搬することが可能です。運搬物を掛けるフックは、運搬物を地面と接地させるだけで切り離すことができる構造となっています。また機体1台に対し送信機が2台あることで見通しの悪い場所でも目視内で安全に作業を行うことが可能となっています。一方、最大飛行時間が約30分であるため、予備バッテリーと充電器を現場に備えておく必要があります。

機械式クサビは、合同会社やまびこ社が取り扱う「山の子24AQ」と「山の子タイタン80」です。「山の子24AQ」は、約12tの持ち上げ能力が有り、インパクトレ

ンチでクサビの打ち込みを行います。「山の子タイタン80」は、約25tの持ち上げ能力が有り、ラチェットでクサビの打ち込みを行います。



写真右：山の子タイタン80
写真左：山の子24AQ

四 使用しての感想

（株）戸川木材からは「従来は苗木が無くなれば仮置き場まで取りに行く必要があったが、林業用運搬ドローンを導入したことでその必要がなくなり、作業員の労働負荷が低減され、植付作業に専念できるようになった。また、機械式クサビについて、従来のクサビを叩く作業は傾斜では危険を伴っていたが、叩く必要が無いため安全が確保できることと打ち込み労力が低減されている。」との感想がありました。

五 終わりに

「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルを循環させるために、それぞれの作業コストと労働負荷の低減が求められており、林業用運搬ドローンと機械式クサビが課題解決の一助になるのではと感じています。

なお、（株）戸川木材は、スマート林業技術等の普及を図るため、今年度と来年度に講習会を開催する計画としており、新見普及指導区としても支援を行うことといたします。

（新見普及指導区 湯浅 秀通）



昨年度の講習会開催状況



一 はじめに

赤磐市は、県の南東部に位置し、平成17年、赤磐郡の4町（山陽町・赤坂町・熊山町・吉井町）が合併し、現在の赤磐市となりました。赤磐の名は、当時の赤坂郡と磐梨郡が明治に合併し、赤磐郡となったものです。

今回、紹介する赤磐市産業振興部農林課は、農林企画班と農林振興班の2班体制で、農林関係全般を担っています。また、各支所（赤坂・熊山・吉井）においても関連業務を担っています。

二 森林経営管理制度の推進

令和元年以降、市は森林経営管理制度の取組の中で、人工林の多い吉井地域で、所有林の現況調査や森林所有者の意向調査を開始しています。

意向確認の際、所有者の代が替わっていたり、県外へ住んでいる等のため、連絡をとりづらい状況

もありますが、可能な箇所から意向をとりまわっています。

当初は、市へ森林管理を委ねると回答していた所有者も、集積計画を設定する段階では、一転、反対の意向に変わることもあり、所有者への意向確認には、時間と手間を要しています。



意向調査の資料と調査データ(吉井地域の一部)

しかし、これまでに、113人（122軒）に意向調査を行い、うち48人（56軒）から経営管理を市に委託したいと回答がありました。その中でも権利関係が明確になっており、最終的な合意が得られた25人（28軒）の人工林について、集積計画を立てる予定となっています。

三 ナラ枯れ対策、森林整備への支援

令和3年に、市内でナラ枯れが確認されて以降、駆除対策を講じています。被害調査は広大な区域となるため、航空探査を活用し、緊急性の高い場所から駆除を実施し、今年度春に、立木くん蒸を行ったところでした。

また、造林や間伐に対しては、事業費の10割の上乗せ補助を行っており、森林所有者等が行う森林整備への支援も行っています。

四 鳥獣被害対策の取組

赤磐市は、桃・ブドウ等の農業のさかんな地域であり、農林産物の被害対策がもう一つの柱です。平成23年に赤磐市鳥獣被害防止対策協議会を発足し、継続的な協議を続けています。

協議会メンバーは、農業関係者・地元代表者・市議・猟友会・森林組合等で構成され、県の農林関係課もオブザーバーとして参画しています。

なお、直面の課題となっている狩猟者確保と防護対策として、鷹匠やドローンを活用した実施事例等について報告されています。



赤磐市鳥獣被害防止対策協議会の開催

五 おわりに

現在、赤磐市役所本庁舎の耐震改修工事を行っており、農林課の執務室は赤坂支所に移転しています。令和7年1月の完成を目指し、内装の一部には、県産材を使用することとお聞きしており、木の癒やしと温もりのある空間となることが期待されます。

また、全国植樹祭のプレ行事となる記念植樹が、本年5月、熊山英国庭園で行われたところであり、ここ赤磐市からも機運を盛り上げています。

(東備普及指導区 難波 武博)



一 はじめに

倉敷普及指導区では、来年春に本県で開催される「第74回全国植樹祭」を盛り上げていくため、岡山県備中県民局提案型協働事業を活用し、備中県民局と備中南森林組合が協定を締結して実施する各種イベントや森林環境学習の機会において、植樹祭のPR活動に取り組むこととしております。

二 事業内容

主な事業内容は次のとおりです。

① 記念植樹の実施

植樹祭PRイベントとして、真備美しい森等で、ボランティアによる記念植樹を実施する。

② 植樹祭PR活動

都市緑化月間（10月）に倉敷市内で開催される「くらしき都市緑化フェア」に参加し、協働による植樹祭PR活動を実施する。

また、企業との協働の森づくり事業や備中県民局管内で開催する

下刈り体験イベント等において植樹祭のPRを行う。

③ 森林学習の実施

総社市及び矢掛町内の小学校で森林・林業教室を開催し、植樹祭のPRとともに、森林・林業の重要性を普及啓発する。

以上のイベントを10回程度開催し、参加者に対して植樹祭のPRグッズ等を配布するとともに、植樹祭の認知度を高めるためのアンケート調査を実施する計画としております。

三 これまでの取り組み

・ 植樹祭PRグッズの作製

岡山県備中県民局提案型協働事



PRグッズ(竹製の定規とマグネット)

業の補助金を活用して、イベント実施時に配布する植樹祭PRグッズを作製しました。

写真は、倉敷市真備町産の孟宗竹に「第74回全国植樹祭」のロゴマークをレーザー加工で印字した竹製の「定規」と「マグネット」です。

なお、このPRグッズは、倉敷市真備町内にある株式会社テオリが作製したものです。テオリは、主に地元の孟宗竹を原材料とした竹集成材を用い、様々な竹製家具等を製造・販売している会社です。

この協働事業によるPRグッズの製作を通じて、倉敷普及指導区の主要な特用林産物である竹の利活用にも貢献しています。

・ 下刈り体験等でのPR活動

7月に総社市と矢掛町内において、植樹祭のPRを兼ねた下刈り体験イベントを2回開催しました。

また、7月16日には、総社市の高間キャンプ場で「高間やまびこまつり」が開催され、植樹祭のPRブースを出店しました。

なお、これらのイベント開催時には、参加者に植樹祭PRグッズを配布するとともに、アンケート調査を実施しています。

四 今後の予定等

秋以降は、真備美しい森等における記念植樹や備中局管内の小学校で開催する森林・林業教室や「くらしき都市緑化フェア」での植樹祭のPR等を予定しています。

令和6年春に本県で開催される「第74回全国植樹祭」は、昭和42年に岡山市の金山山頂で開催した第18回大会以来、57年ぶり2回目の開催となります。

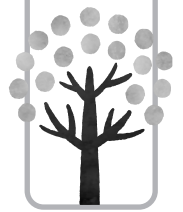
この国民的行事の開催が、森林や緑に対する県民の理解を深める絶好の機会と捉え、協働事業の実施を通じて植樹祭のPRを行うとともに、森林・林業の重要性について広く普及啓発していきたいと思えます。

(倉敷普及指導区 真栄田 節夫)



下刈り体験イベント(総社市種井地内)

『企業との協働の森づくり事業』 岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証制度



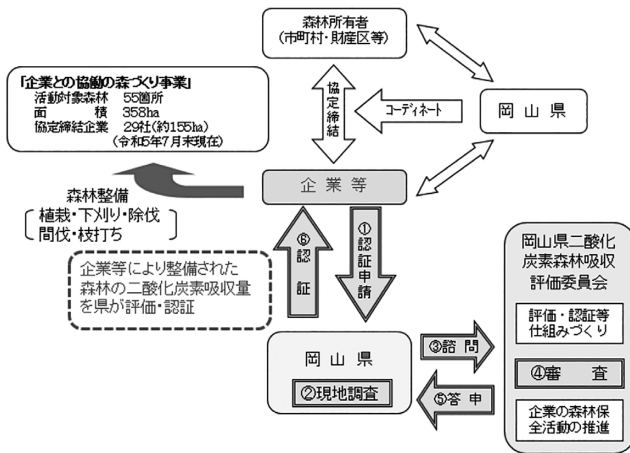
一 企業との協働の森づくり事業

地球温暖化防止など環境問題への関心の高まりを背景に、社会貢献活動の一環として森林保全活動に取り組もうとする企業が増えていくことから、県では、企業からの要請に対応し、市町村などからの協力により活動対象森林（55箇所、約358ha）を選定するとともに、活動森林等の情報提供、地元市町村等との調整、技術提供等の支援体制を整備しています。

受入体制の整備や活動プラン等の提案などを行った結果、令和5年7月末時点で29企業・団体が市町村等と森づくり協定を締結し、植樹・間伐等の活動により森林保全に貢献されています。

二 岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証制度

貢献度を数値化することにより、企業の森林保全活動への参画を促進するため、平成二十一年度「岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証制度」を創設しています。

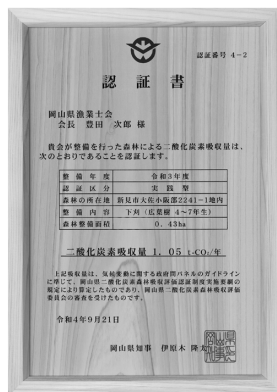


- (1) 対象とする企業等
社会貢献の一環として県が進めている「企業との協働の森づくり」参画企業・団体等。
- (2) 対象とする森林整備
植栽、下刈り、除伐、間伐、枝打ちとし、整備の基準を満たすもの。
- (3) 認証の区分
① 実践型：自ら森林整備を行った場合。

- (4) 支援型：費用や物資の提供、整備を委託した場合。
気候変動に関する政府間パネルのガイドラインに準じ、蓄積変化法（材積表による一年当たりの幹の成長量）により県が現地調査を行い、次式に基づき算定します。

- (5) 審査
算定した二酸化炭素吸収量及び認証の可否については、県の諮問を受け、学識経験者や企業関係者により構成される岡山県二酸化炭素森林吸収評価委員会が審査を行い、県へ答申します。
- (6) 認証
① 上記委員会からの答申を踏まえ、県が認証を行い、整備内容や二酸化炭素吸収量等を記載した認証書を交付するとともに、認証状況を県のホームページに掲載します。
② 認証書には、今後の活動に役立つため、森林整備活動の継続的な実施や環境教育への

- (7) 広報での利用
認証書に記載された二酸化炭素吸収量は、温室効果ガスの排出量取引等における根拠とはなりません。社会貢献活動の証として、広報活動に活用いただけます。
- (8) 活用、地域との交流などの重要性について、意見を付すこととしています。
- (9) 認証書の発行等に要する手数料は無料です。



ヒノキの認証書

三 おわりに

現在、SDGs（持続可能な開発目標）への積極的な取り組みを行う企業が増えているため、引き続き活動の場となる森林の確保や受け入れ体制の整備等を行い、企業との協働による森づくり活動を支援してまいりたいと考えております。

（林政課 森林経営班）

令和5年度 林業普及 指導員等中央研修を 開催しました

一 はじめに

この研修は、林業の普及活動に対するニーズが多様化する中、地域における課題等に対応した効果的な普及活動を進めるため、林業普及指導員が一堂に会し、情報の共有やグループ討議を通じて、指導員の資質向上を図ることを目的に、毎年開催しているものです。

本年度は令和5年8月7日(月)に、ピュアリテイまきび(岡山市)で、県林業関係職員41名が参加して開催しましたので、その概要を報告します。

二 中央研修の主な内容

(1) 普及指導の取組発表

日頃の普及指導の取組成果を共有するため、井笠普及指導区から、「林業が主要産業ではない地域の森林経営管理制度の取組事例について」岡山県井笠市における市・森林組合・林業普及指導員の役割」と題した発表が行われました。

発表では、林業普及指導員が、市や森林組合との継続的な話し合いや、岡山県森林クラウドの操作マニュアルを独自に作成したことなどが、森林経営管理制度や森林

環境譲与税の推進につながった事例が紹介されました。

林業が主要産業でない地域においても、関係者との話し合いが重要となることを伝える内容となっており、結びでの、指導員は相談しやすいサポーターとなることが大切であるという言葉が、多くの指導員の共感を生んでいました。



普及指導の取組発表
(井笠普及指導区)

(2) グループ討議

昨年度に引き続き、KJ法によるグループ討議と、KP法による討議結果の発表を行いました。

KJ法とは、発案者の川喜田二郎氏のインシヤルを取ったコミュニケーション手法・思考整理法です。具体的な進め方としては、初めに、グループの班員各自が、テーマに沿ってふせんに発想を書き出していき、その後、作成したふせんについて、班員同士が話し合いながら、ふせんを、内容や関係

性等で整理することで、思考を整理しつつ、討議を進めていくものです。

本年度は、討議のテーマを「森林経営計画に基づく持続的な森林整備を行う上での3つの課題、及びその解決方法」として、4グループに分かれて討議を行いました。テーマとなった森林経営計画ですが、全国的に、認定面積が減少傾向にあり、本県も例外ではありません。持続的な森林整備を進めるために不可欠となる森林経営計画制度がテーマということもあり、若い方も積極的に、ベテランの方もフレッシュな視点を取り入れながら、日頃の普及指導経験に基づいた意見が交わされ、各班、活気のある討議となりました。



KJ法による討議

討議結果の発表は、紙芝居プレゼンテーション法(略称KP法)により行われました。これは、キーワードを書いた紙をホワイトボ

ードにペタペタと貼りながら、発表していく方法です。

発表では、「森林経営管理制度の活用」や「長期計画作成のサポート」など、各班から多くの解決案が発表されました。様々な要因が関係する、複雑な制度を推進していくためには、普及指導員が一丸となる必要があることを、共有できたところです。



KP法による結果発表

三 おわりに

取組発表やグループ討議を通して、地域の課題を解決していくためには、普及指導員が、自ら、積極的に地域に関わっていくことの重要性を再確認したところです。

県では、今回の研修や専門分野別の研修などを通じて、今後も林業普及指導員の資質向上に努めてまいります。

(林政課普及指導班)

研究
だより

木製残存型枠用
2層パネルの開発



一 はじめに

岡山県の治山事業で実施する治山ダム用型枠は、県産材の需要拡大の観点から上流側にスギ正角材(未乾燥材)を使った木製残存型枠(写真1)、下流側にはコンクリート型枠用合板を使った型枠(以下・通常型枠)が使われています。



写真1 木製残存型枠

この木製残存型枠は通常型枠と比べ、スギ正角材を積み上げるために必要なダボ穴の加工に手間がかかることや材料費により施工単価が高くなっていることが課題となつています。

そこで、丸身や腐れ等でJAS製品としてCLT等に使用できない安価な板材(以下・はね材)を活用した木製残存型枠用2層パネル(以下・2層パネル)を新たに考案し、木製残存型枠としての活用を検討しましたので紹介します。

二 研究内容

① 2層パネル

使用するはね材は、幅105mm、厚さ30mm、長さ2mの寸法のもので、幅方向に4枚並べたものを2組作り、写真2のように積層接着したものです。寸法は幅420mm、厚さ60mm、長さ2m



写真2 木口面から見た2層パネル

表 コンクリート打設の側圧に対する安全率

	試験体1	試験体2	試験体3
最大荷重 (kN)	33.01	35.46	28.86
荷重面積 [㎡] (300mm*500mm)	0.15	0.15	0.15
㎡当たりの最大荷重 (kN/㎡)	220.08	236.41	192.39
最大荷重から求めた許容最大荷重 (kN/㎡) ①	146.72	157.61	128.26
コンクリート打設時の側圧 (kN/㎡) ②	35.3	35.3	35.3
コンクリート打設時の側圧に対する安全率 (倍) ①/②	4.2	4.5	3.6

で、1人で運搬できる重量です。また、積層面をずらすことで、相じやくり加工のような縦横が組み合わせられるようになっていきます。実際に試作したものは、製造直後の大きなそりや曲がりは見られませんでした。

② 強度試験

2層パネルがコンクリート打設に耐え得る十分な強度があるかを確認するため、さらに薄い45mm厚の2層パネル3体でコンクリート打設圧を想定した曲げ試験を実施しました。

最大荷重から求めた^mあたりの許容最大荷重は、安全率を1.5倍とすると、それぞれ表の結果のとおりとなり、2層パネルの厚みが45mmであっても十分な耐力を有していることが明らかとなりました。

③ 2層パネルの試験施工

試作した2層パネルは新しい面材料であるため、木製残存型枠として使用できるか実際にコンクリートを打設して確認しました。

型枠の組立は、2層パネルの継ぎ手部分のコンクリート打設後の状況を見るため、上下2段とし、写真3のように上段は長さ2mの2層パネル1枚、下段は長さ1mの2層パネルを2枚左右に配置しました。その後、コンクリート打設を行い、2層パネルのそりや継ぎ手部分の



写真3 型枠組立状況

ノ口漏れの状況等を観察するとともに、実際の施工性についても型枠工の方に聞き取り調査を実施しました。

施工結果としては、型枠組立時に特に問題になるような点はなく、型枠工の方からは、「底面さえきっちり設置できれば、スムーズに施工できるのではないか」との意見をいただきました。

また、コンクリート打設時のノ口漏れや2層パネル自体の強度も問題がありませんでした。

一方、時間経過とともに2層パネルが留まっているセパレーターが切れる箇所も出てきました。

三 おわりに

今回の試験施工では、2層パネルが型枠組立時やコンクリート打設時において問題なく使用できましたが、セパレーターが切れるという残存型枠としての機能維持のための課題が生じました。

解決策としては、要因の1つに木材の収縮が考えられることから、2層を直交にするなどして木材の収縮を抑える仕様を再度検討することとしています。

引き続き、木製残存型枠の工法の一つとなるよう研究を進めていきたいと考えております。

(木材加工研究室)

専門研究員 道場 隆



一 はじめに

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民の理解を深めるための国土緑化運動の中心となる行事です。

「第74回全国植樹祭 岡山2024」は令和6年5月26日（日曜日）に開催することが決定しました。

二 開催機運醸成に向けた取組

全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、様々な記念事業を行います。今回は、そのうち2つご紹介します。

1つ目は、県内5箇所で開催する地域植樹です。合計約1,000人の参加者を募集し、植樹を行います。植樹以外にも木工・林業体験を併催することとしており、幅広い世代の皆様に参加していただけます。また、地域植樹に参加された方に対しては、全国植樹祭の県内一般参加者の公募において、優先枠を設けます。是非、



地域植樹の様子(令和4年度実施分)

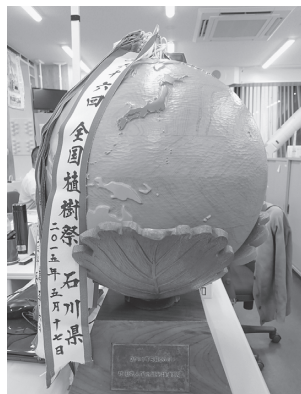
開催日	植樹場所	募集人数	植樹本数
9月30日(土)	鏡野町上齋原地内(恩原高原)	250人	750本
10月21日(土)	新見市大佐小阪部地内(大佐山大日高原)	240人	700本
11月11日(土)	津山市市場地内(ウッドパーク声ヶ峠)	170人	500本
11月25日(土)	高梁市有漢町有漢地内(高梁市市有林)	400人	3,600本
計		1,060人	5,500本

地域植樹の開催計画

ご家族揃って地域植樹へのご参加をお願いします。

2つ目は、「木製地球儀」の巡回展示です。「木製地球儀」とは、21世紀最初の全国植樹祭となった第52回山梨大会の際に、シンボルとして作成されたものです。これは地球儀にヒノキ、葉はナラ、基台はケヤキで作られています。「木製地球儀」は県内全市町村を令和6年3月末まで巡回展示し、全県的な盛り上げを図ります。

ほかに、県内市町村参画による記念植樹や、「森・みどりがひろがる読み聞かせ支援事業」などを実施しています。



木製地球儀

三 周期イベント

全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成等を図るため、周期イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。



「1年前記念イベント」での記念植樹

令和5年5月20日（土曜日）に開催した1年前記念イベントでは、約13,000人の来場者があり、大盛況で終えることができました。

四 おわりに

開催まで1年を切りましたが、当室では、特色ある有意義な大会となるよう今後も様々な取組を進めていきますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。（自然環境課 全国植樹祭推進室）



植樹祭HP



Instagram

岡山県林業研究グループ交換研修大会が開催されました。

一 はじめに

岡山県林業改良普及協会専門部会の一大イベントである「岡山県林業研究グループ交換研修大会」が令和5年7月12日に、勝山木材ふれあい会館（真庭市）において開催されました。

本大会は、県下の林研グループが一同に会して情報交換を行うことで、林研グループの資質向上を図ることを目的として、毎年この時期に開催されてきたものです。

本年度は、県内各地から12グループ、27名の参加があり、今年も林研グループ会員のみなさんが元気な顔を合わせることができました。

大会では、開催地代表の林研グループから日頃の活動状況の発表や、出席した林研グループからの近況報告があったほか、本年度に運用を開始したばかりの新庄村役場庁舎の現地視察を行いましたので、誌面をお借りして、大会内容の一部を紹介させていただきます。

二 林研グループの活動発表

例年恒例となっているグループ活動の発表では、真庭森林・林業研究会監事の梶岡泰士様から、「地域に根差して学ぶ伝統と革

新」と題して、近年の活動状況の発表がありました。

発表では、真庭市の林業・木材産業の状況について説明があったほか、市内でも特に林業が盛んな地域である富原地区で森林・林業教室を開催していることや、林業先進地である鳥取県日南町への視察結果の報告があり、さらに、子供たちが木に触れることで森林や林業への関心を持つてもらおう機会をつくるための活動として、家具づくり塾や親子木工教室、森林組合主催のこども樹木博士への協力をを行っていることなどが紹介され、日頃から精力的に活動されている様子が伝わる、魅力あふれる発表となっていました。

この発表のあとは、出席グループから、近年の活動状況について



活動発表の様子
(真庭森林・林業研究会)

報告いただきました。コロナ禍と相まって思うように活動できなかったこの数年、会員の高齢化や加入者の増加が見込めないなど共通の悩みを抱えながらも、活動を続けていくそれぞれのグループの近況を共有することができ、令和6年度に津山市で開催される全国林業後継者大会に向け、新たな方向を探っていくようと、お互いの刺激となったようでした。



各林研グループの近況報告

三 現地視察

新庄村役場では、議場としても使用する大ホールを会場に、副村長と担当者から、新庁舎に込めた想いについて、お話を伺いました。

新庁舎は、『新庄村の背後にある歴史や文化を紐とぎ、「かたち」に変える作業が次の世代に引き継ぐデザインコンセプト（基本となる指針）である』として設計されており、使用した木材の約八割が村産材であることや、大ホールから

はその木材を育んだ山々が見えるようにしたこと、階段に村の花と木である桜と杉をデザインするなど、庁舎のあちこちに新庄村らしさをちりばめたことなどをお聞きしました。その後、庁舎内の見学に移りましたが、村産材がふんだんに使われた建物は美しく、村の自然や歴史をモチーフにした様々なデザインからは、『山里に流れる清流が故郷の風景であるように新庁舎もまた故郷の風景になってほしい』との思いが伝わってきました。



新庄村役場新庁舎視察状況

四 おわりに


半日の短い研修でしたが、本大会が、年に一度の会員同士の貴重な情報交換の場となっていることを改めて感じ、今後も、皆様の期待に添う大会を企画していきますので、よろしくお願いたします。

(岡山県林業改良普及協会)

専門部会事務局

技能講習会の開催（10月～12月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	岡山	10月25～27日（受付終了）	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL（0868）28-9518  林災防岡山県支部HP
	津山	12月20～22日（受付終了）	
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。 ※「伐木等特別教育」2月分、受講申込受付中です。詳しくはHPをご覧ください。			
小型移動式クレーン運転	岡山	11月9～10日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL（086）225-3571
玉掛け	岡山	10月5～6日 11月1～2日、4～5日 12月7～8日	
	津山	10月2～3日	
	新見	10月12～13日	
	玉野	10月26～27日	
フォークリフト運転	岡山	10月4日、21日 11月8日 12月6日、16日	
	津山	10月5日	



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります
 中国銀行岡山駅前支店 普通1852041
 トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX（086）221-9511



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



PECKER PRO

shindaiwa®

E2038SR/400TVP

高性能林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<https://mitsuyoshi.com/>

フォレストレンジャー
の活動紹介

県では、学校等の公共施設や集落周辺などの重要な森林の荒廃状況を調査し、災害の未然防止を図るとともに、森林の公益的機能を高める森づくりを推進することを目的に、平成25年度から地域を熟知した専任の調査員（フォレストレンジャー）による森林調査等を行っています。



ナラ枯れ被害森林調査

このフォレストレンジャーは各県民局森林企画課・地域森林課にそれぞれ1名ずつ、県下で計9名

が配置されており、バイクで担当地区を巡視しながら、主に次の業務を行っています。

- ① 集落等の周辺森林の調査
- ② 松くい虫、ナラ枯れ、野生鳥獣等による被害森林の荒廃調査
- ③ 山火事予防の啓発活動、山火事跡地の植生回復状況の調査
- ④ 森林災害等の未然防止。パトロール



山火事予防啓発活動

県では、これらの業務により森林災害等に係る現状を把握した上で、市町村や森林組合などの関係機関と連携しながら、効率的に事業を実施することにより、地域住民の皆さんの安全・安心の確保に努めています。

（治山課 保全班）

林 産 物 市 況

●木 材（8月29日）

・出荷量 約1,400m³

単位：千円/m³



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概 況
杉	3 m	14~16	10	~	杉概況 【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 【4m】 中目材 横這い 元 木 横這い
		18~20	10	~	
		22~28	10	~	
	4 m	18~22	10	—	
		24~28	10.5	9.5	
	6 m	16~18	—	—	
檜	3 m	14~16	19	15	檜概況 【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 元 木 横這い 【4m】 柱 材 やや強含み 中目材 やや強含み 元 木 横這い
		18~20	16	15	
		22上	17	16	
	4 m	16~18	20	19	
		20~22	18	17	
		24~28	16	16	
	6 m	16	—	—	
		18~20	—	—	

●製 材（8月）

価格：円/m³



樹種	寸 法	等級	区分	安値~高値	備考
ス ズ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	85,000 ~90,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	80,000 ~95,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	85,000 ~90,000	
	正角 3m 12cm角	特等	K	80,000 ~85,000	
	正角 4m 10.5cm角	特等	K	85,000 ~90,000	
	正角 4m 12cm角	特等	K	80,000~	
マ ツ	平角 4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	扱いなし	
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm角	特等	G	77,000~	
	平角 3m、4m 10.5×15~21cm	特等	K	~99,000	
北洋 アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	100,000 ~105,000	
ホワイト ウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	~80,000	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報
価格は中値

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齡樹保護カバー〕くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

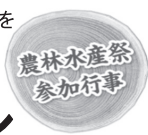
販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

第35回 岡山県民有林優良材展示コンクール

岡山県森林組合連合会では、優良材の振興を図り国産材の安定供給及び本県林業の発展を期することを目的として『岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催いたしますので多数参加(出品)されますようご案内申し上げます。



日時 令和5年11月9日(木)
開市 午前9時

■出品受付 令和5年10月2日(月)～10月31日(火)

場所 岡山県森林組合連合会
津山木材共販所
津山市一宮 1189 ☎(0868)28-1118

優良材・特殊材の出荷状況など
HP・インスタにて随時公開中



◎主催 岡山県森林組合連合会

◎後援 岡山県・近畿中国森林管理局(岡山森林管理署)
◎協賛 (一社)岡山県木材組合連合会・農林中央金庫岡山支店・全国森林組合連合会

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千4百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと27,444円(5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと43,325円(5年間計)

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

ほっけー木になる情報

Q. 効率的な森林経営を進めたいのですが、林道が狭く軽トラしか入れません。また、林道を開設してほしい森林もあるのですが、どうしたらいいですか。

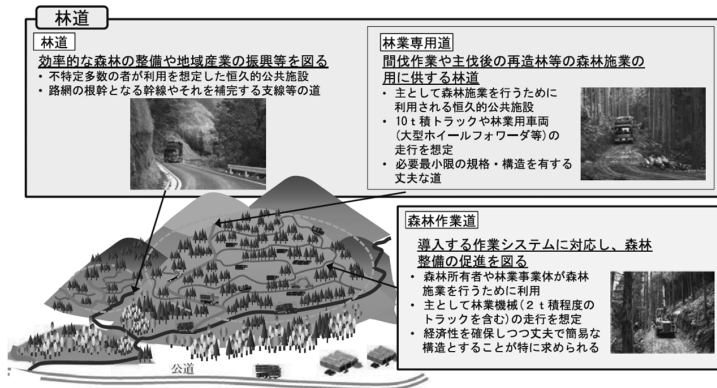
A. 建築用材や木質バイオマス利用の拡大等による木材生産の増加が見込まれる中、高性能林業機械の導入や大型車両により木材流通コストの低減を図るためには、骨格となる林道と森林作業道をバランス良く配置することが重要です。さらに、林道は山村地域の生活道、災害時には迂回路としての活用も見込まれています。

こうした中、既設林道の拡幅や待避所の設置、のり面保護や舗装など、安全で使いやすく、災害に強い路網を整備するため、国や県の支援制度があります。市町村の担当課に問い合わせしてみてください。

また、新たな林道の整備に当たつ

ては、個別の森林をどのように整備・保全し、利用していくのかということだけではなく、地域一帯の森づくりを見据えて、長期的な視点に立った構想を幅広い関係者と共有することが大切です。

まずは、市町村の担当課や県民局・地域事務所の林業普及指導員に相談してみてください。



出典：森林総合監理士(フォレスター)基本テキスト(令和5年度版)

(治山課 整備班)

中古林業機械 売ります！買います！

HITACHI
 日立建設機械
 油圧ショベル

Logisnext
 三菱ロジスネクスト
 フォークリフト

STIHL
 チェーンソー

各種林業アタッチメント
NANSEI
MOROOKA

各種機械のレンタル・修理も承ります！

富士岡山運搬機株式会社

林業機械

本社	岡山県津山市津山口111-1	TEL : 0868-24-3211
新見	岡山県新見市石蟹267-9	TEL : 0867-76-9077
岡山	岡山県岡山市中区江崎84-1	TEL : 086-277-5100
鳥取	鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0857-50-1985

林声

令和五年九月一日（第四九十一号）
（隔月一日発行）

編集 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
発行 岡山県森林組合連合会内 岡山市北区榎津四九一一一

森林・林業施設の紹介

「経ヶ丸生活環境保全林」

今回ご紹介する「経ヶ丸生活環境保全林」は昭和56年度から、森林の改良とともに、自然に触れ合うレクリエーションの場として治山事業により整備され、経ヶ丸山頂（標高281m）を中心に広がる丘陵地は「経ヶ丸」と呼ばれ眺望も素晴らしいところです。



経ヶ丸山頂からの眺望

区域内には遊歩道が張り巡らされ、隣接する施設「経ヶ丸グリーンパーク」には、ロング滑り台やオートキャンプ場などがあり、今では子供から大人まで一日中楽しめるエリアとして人気です。

井原市では令和4年度に森林環境譲与税を活用して、麓から山頂に伸びる林道経ヶ丸線、林道大宮谷線、展望台等の支障木伐採を行いました。今後も利用者の安全・安心につながる維持管理を図っていく方針です。
秋の訪れとともに少し涼しくなった際には、是非皆さんも出かけてみてください。

（井笠普及指導区 田畑 秀将）



山頂標識
（標高281m）



山頂休憩施設

優良種菌で確かな収穫

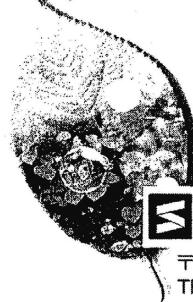
もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

おかやまの木で家づくり支援事業

助成金額：最大24万円/戸
助成対象者：
①県内で認証材を4㎡以上使用して新築する住宅(450戸程度)
② " " " " 民間非住宅(50件程度)
③ " " 2㎡以上使用して改修する住宅(被災住宅)

詳細はこちら ↓
<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人 岡山県木材組合連合会
〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 (岡山県木材会館内)
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。